

# 2006年度第1四半期 決算公表参考資料

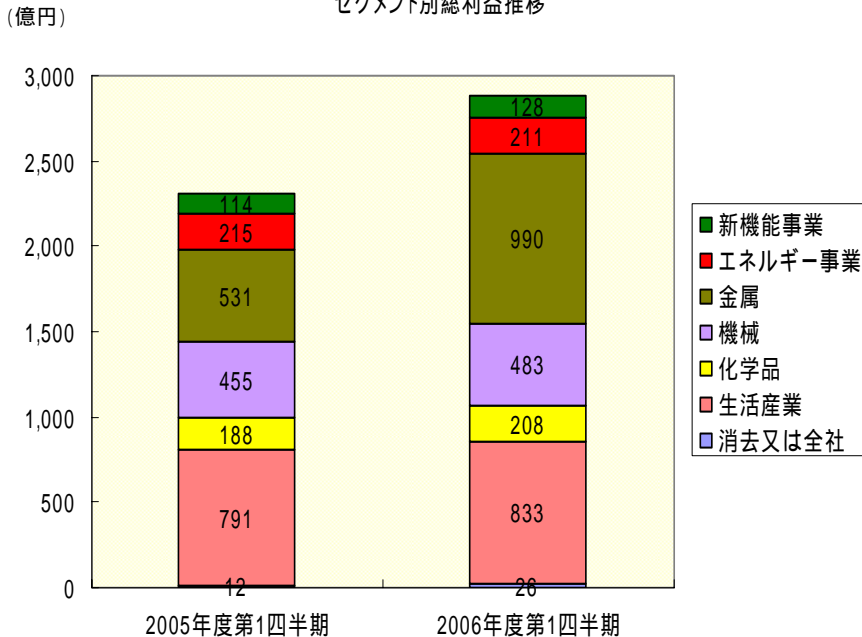
2006年7月28日

三菱商事株式会社

# 主要PL項目の前年同期比増減

(億円)	2006年度 第1四半期	2005年度 第1四半期	増減	増加率	2006年度 通期見通し	達成率
売上高	48,773	43,288	5,485	13%	192,000	25%
総利益	2,879	2,306	573	25%	11,100	26%
営業利益	1,085	664	421	63%	3,800	29%
連結純利益	1,244	775	469	61%	3,700	34%
基礎収益	1,541	1,097	444	40%	5,500	28%

セグメント別総利益推移



## 過去のトラックレコード (四半期単位)

四半期決算を開始した2000年度  
第3四半期以降が比較対象

**売上高**・・・過去3番目の水準

(過去最高は2005年度第4四半期5.1兆円)

**売上総利益**・・・過去最高益

(従来最高益は2005年度第4四半期 2,788億円)

**営業利益**・・・過去最高益・四半期で初めて営業利益1,000億円超

(従来最高益は2005年度第2四半期 977億円)

**連結純利益**・・・過去最高益

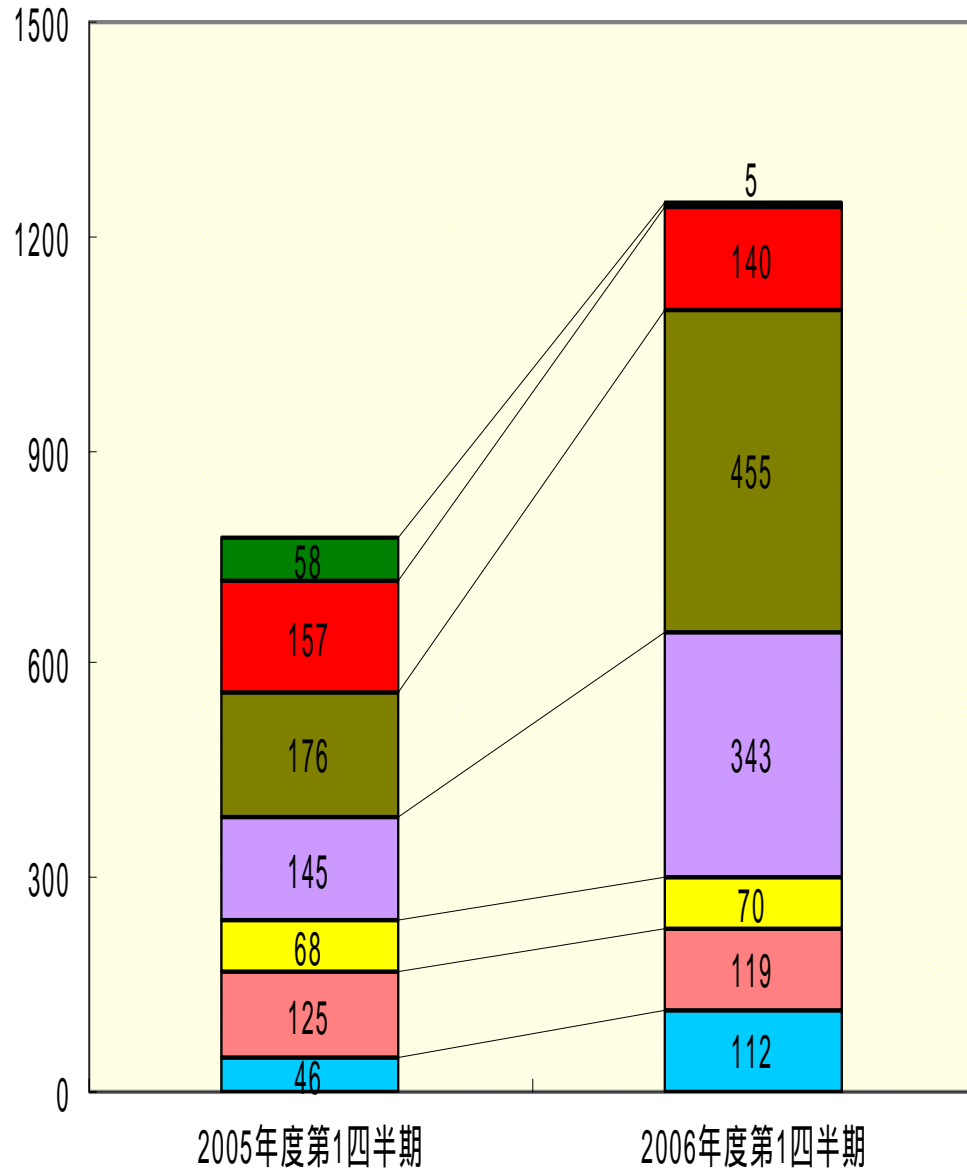
(従来最高益は2005年度第3四半期 1,017億円)

**基礎収益**・・・過去最高益

(従来最高益は2005年度第4四半期 1,485億円)

# セグメント別連結純利益の前年同期比増減

(億円)



- 新機能事業
- エネルギー事業
- 金属
- 機械
- 化学品
- 生活産業
- 消去又は全社

## セグメント別増減理由

**新機能事業**・・・金融子会社の為替評価損益の悪化により減益

**エネルギー事業**・・・プロジェクト進捗に伴う開発費用増、及び資源関連投資先からの配当一部未実行により減益

**金属**・・・原料炭事業、鉄鋼製品事業の好調、市況上昇による資源関連投資先の持分利益及び受取配当金増加により増益

**機械**・・・ダイヤモンドシティ株式売却益により増益

**化学品**・・・各事業が堅調に推移し横ばい

**生活産業**・・・食料関連子会社で新規設備投資に伴う費用増の影響で微減

## 資源価格の推移

	2006年度 第1四半期	2005年度 第1四半期	増減
油価(ドバイ) (\$ /BBL)	64.8	47.9	16.9
銅価 (\$ /MT)	7,210	3,388	3,822
アルミ価格 (\$ /MT)	2,653	1,790	863
原料炭 (前年度価格) (\$ /MT)	125.0	56.5	68.5

## 商品市況・為替の状況

	第1四半期の状況 (4-6月平均)	通期見通しの前提	増減	連結純利益に対する損益インパクト
為替 (YEN/ \$)	114.50	110.00	4.50	1円円安につき年間19億円の増益インパクト
円金利 (%) 3ヶ月TIBOR	0.21	0.30	0.09	取引利益や投資利益により金利上昇の影響は相殺される部分が相当あるが、金利上昇が急である場合には一時的に影響を受ける。
US\$金利 (%) 3ヶ月LIBOR	5.22	5.00	0.22	
油価 (ドル/イ) ( \$ /BBL)	64.8	55.0	9.8	\$1上昇につき年間10億円の増益インパクト
銅地金 ( \$ /MT)	7,210	4,630	2,580	\$100上昇につき年間4.5億円の増益インパクト
アルミ地金 ( \$ /MT)	2,653	2,300	353	\$100上昇につき年間10億円の増益インパクト

商品市況・為替は通期見通しの前提を上回る水準か同水準で推移している。

